

基礎物理学部



中村 誠太郎

素粒子国際会議を終わって

先月二十四日から二十七日まで京都府立総合技術センターで開かれた理論物理学の国際会議...

議論は、最近の高エネルギー物理学によって長足の進歩を遂げた。しかし、今日の素粒子論の中心は、外から見たら、核力に似て、外から見たら、核力に似て、外から見たら...

第二のテーマは素粒子の分類と素粒子構造の問題である。これについては、素粒子の複合粒子モデルをめぐって...

も米、欧州の先進国は、日本の研究の進歩について暖かい関心をもち続けている。この新しい相互の理解にもとづいて国際的な研究の進展は、世界の平和と貢献する一つの機会である。

第一のテーマは、大別して三つに分けられる。一つは三十周年をむかえた中間子論の展開に関する問題である。湯川理論では、原子核を結合させている新しい力の場としての中間子の存在をめぐって...

c073-001-022

まず「模型」部門で発表

素粒子国際会議 初日から議論活発

素粒子国際会議は、二十四日朝から京都府立総合技術センターで開かれ、この日は主として、原子核の内部構造...

模型部門の発表が行なわれた。また、ハン・ホフ博士のスピーチが一時中断にわたって飛び入りの講演発表をするなど、初日から議論活発、小人数で自由に話し合う機会をとりこぎ、ランダムな学合となった。

c073-001-023